

## 湯たびの会レポート

**期間：**令和5年11月7日(火)~9日(木)

**場所：**11月7日(火) 福島県喜多方市 会津・日中温泉「ゆもとや」

11月8日(水) 山形県米沢市 白布温泉「東屋」

**日時：**11月7日 AM7時10分 小田急線新百合ヶ丘駅集合

新百合ヶ丘駅⇒新宿駅⇒東京駅 やまびこ53号に乗車して、郡山駅下車 郡山駅より磐越西線にて会津若松へ 会津若松駅にて乗り換え喜多方へ、新百合ヶ丘駅をAM7時10分集合にしたのは、(喜多方ラーメンを食べるために12時前に喜多方に到着する予定で出発のため)、郡山駅につき、磐越西線に乗り換え



食後「若喜商店レンガ蔵」を見学。  
ここで唐橋ユミさんの実家「ほまれ酒造」の「会津ほまれ720ml」を1本購入。この酒は飲みやすく本当に美味しい酒であった。

の為ホームに行くと、強い雨風のため、AM10時過ぎ迄列車は動かないとの事、最初のアクシデントに遭遇、それでも早く出発していたので、喜多方にはAM11時45分に到着、

駅の案内所にて、喜多方ラーメンの人気店の紹介を受けて、駅から20分程歩き、「坂内」というラーメン屋に向かうと確かに大変混雑している店でラーメンも大変美味しく頂きました。



喜多方駅より14時30分に「ゆもとや」の迎いの車にて、今日泊まる「ゆもとや」に20分程で到着。



会津・日中温泉「ゆもとや」は江戸時代の文化10年（1813年）に開湯した二百年を超す歴史のある温泉であるが、平成5年に新しく建て直し今風の建屋で新鮮な感じの温泉であった。

のんびりと温泉につかり美味しい夕食を食べながら頂いたお酒「吉の川」も大変美味しいお酒であり、今回はお酒に恵まれた旅であった。



翌日9時20分に宿を出発。喜多方発9時52分に乗り会津若松乗り換えで郡山駅へ。郡山で簡単な昼食を取り、郡山駅13時18分発「つばさ137号」に乗り米沢着14時08分の予定で（迎えの車14時30分）新幹線に乗るも、

ここで第二のアクシデントに遭遇、福島駅を出てもまもなく停電のため、新幹線が止まってしまい40分程遅れが生じた。米沢駅の迎えの車はこの間待って頂いていたので問題もなく宿には15時40分ごろ到着した。

## 湯たびの会 (白布温泉・東屋)

今回の湯たびの会の2日目は一日目の“ゆもとや”を出発して白布温泉の東屋行き行程です。東屋へは昨年の4月に行っているため今回が2回目。秘湯の会の10個のスタンプを貰って招待されて行くことになり楽しみにしていました。

停電で列車が遅れ、3時過ぎに米沢に到着して、そこから送迎バスで約30分かけて西吾妻連峰の中腹の地上約900メートルに位置する東屋に到着した。



到着後少し休憩をして4時頃から露天風呂に入った。露天風呂は少し熱めで源泉かけ流しで非常に良かった。内風呂にある“打たせ湯”(滝風呂)はこの温泉の名物のようなもので前回の時にも好評だったので皆さん早速利用された様です。

地上4~5メートルの高さから温泉湯が大量に勢よく落ちてくるので非常に気持ちが良い。背中の良いマッサージにもなる。このような流れ湯が強・中・弱と3本あり良く考えて作られています。



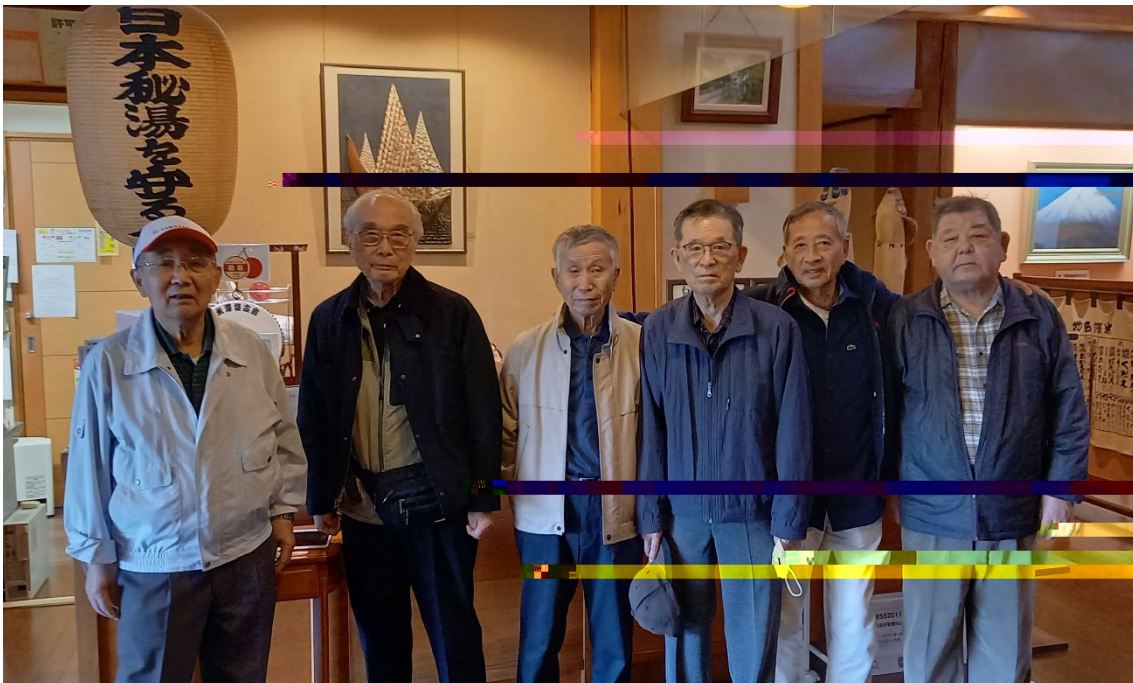
夕食は御馳走が来ました。前日は食べきれない程の大量の食事でしたが今晚は少し少な目で私でも私でも完食するほどの丁度良い量でした。特に米沢牛が美味でした。

この日は皆さん最近では珍しくお酒が相当進んでいました。

食事を楽しんだあとは、いつものように一部屋に集まって歓談や次回の打ち合わせをしましたが、皆さんお疲れで議論も余り進まず、温泉にも入らずに9時前に寝てしまいました。



この様に年寄りには夜には弱いですが朝には強く、早い人は3時頃から遅い人でも6時前から再び露天風呂と内湯や打たせ湯に行き温泉を堪能していました。



朝食を 8 時に終えて 10 時には送迎バスで米沢駅へ出発。通常東屋から米沢駅までは約 30 分かかるとのことですが、東屋は送迎バスが 30 分で米沢に着くことは確約出来ないとのことだったので余裕を見て 11 時 38 分の“つばさ 138 号”の指定席を予約していました。

ところが送迎車は予定通り約 30 分で 10 時 30 分に米沢駅に着きました。そこで一電車早い 10 時 37 分発の“つばさ 136 号”に乗る事にしました。しかし此の電車は非常に混んでおり乗車すれば多分立ち席になるでしょうとの事でしたが、立ち席覚悟で“つばさ 136 号”に乗る事にしました。ところが電車が 5 分程遅れるとの放送があったので、“つばさ 136 号”の指定席を取ることにトライして緑の窓口に行きました。(山形新幹線は全席座席指定で指定席券の無い人は原則立ち席となる)窓口には既に 4 人程順番を待っていましたが 10 時 40 分になっても順番が来ずイライラしてもう諦めようかと思っていたところ緑の窓口の女性従業員が私達の表情を見て急ぎと思い対応中の客を待たせて(通り

越して)私達の要望を聞いてくれました。6 枚の座席指定券を直ちにコンピューターに入力して、混んでほとんど空きのない電車から空席を捜して座席指定の変更をしてくれました。僅か一分位でした。出来上ったのは 10 時 42 分頃。此の女性の処理の早いこと。本当に神業でした。その結果新しい指定席券を持ってホームに出た時には電車はすでに入っており発車十秒程前でした。危うくセーフでした。此の優秀な女性に感謝！感謝！です。

私の米沢・白府温泉東屋の印象は、露天風呂・打たせ湯・米沢牛・JR 緑の窓口のスーパー女性でした。

米沢で一電車速い新幹線に乗れたので福島には一時間早く 11 時 15 分頃に着きました。

観光案内所に行って昼食に良い所と観光地等を聞きましたが、皆さんお疲れで観光はやめ昼食も軽く食べられるカフェの様な所に行きました。流石そこには若者が多くて我々には場違いのような気がしましたが、そこで軽食を食べて早目の新幹線に乗り大宮・新宿経由で新百合ヶ丘には 3 時半頃に着きました。



今後の教訓： 無理なスケジュールはたてない。余裕を持った旅にする。

二泊した場合は二泊目には疲れが出るのでこの点を考慮する。

温泉では特に冬場の露天風呂は要注意、入浴は単独ではなく複数人で。

今回は天候に恵まれて非常に温かく、一日目は少し温めの温泉、二日目は熱めの温泉と体にバランスよく温泉に入れ、最終日は少し早めに切り上げて帰宅し快適な旅となりました。

次回は 2024 年 2 月 21 日(水)～22 日(木)箱根の塔ノ沢温泉、福住楼  
幹事は宮本さんです